

昔になります。基礎医学研究の最先端に憧れ、2000年から6年間アメリカの大学の遺伝学教室に勤務しました。後半の仕事は、世界レベルで、とても充実し楽しい日々でした。

ただし研究テーマは「ほ乳類のDNA2本鎖切断及び架橋結合障害時の組み換えDNA修復の可能性」と、一般の方にとって複雑怪奇です。文学的に言うと「子の細胞の中で、父由来の遺伝子が壊れた時、母由来の同じ遺伝子を探し出せるか？」という、壮大な愛のテーマにつながるような研究なのですが、これを主眼としている研究室は多くみ

用意周到な遺伝子

でも世界で五つ以下しかありません。分母が少なければ最先端になるのは簡単なのです。

人の染色体は基本的にDNAが連なったもので、ヒト染色体の長さの2%が遺伝子です。遺伝子とは細胞が作るタンパク質の「設計図」を暗号化しているDNA配列です。DNAは通常、2本の鎖のよ

小児科医

駒木 智

2017.6.15



しかも遺伝子の集まりである染色体は、相同染色体と言って、原則父さんと母さん由来の2本があります。つまり一つの同じ働きをする遺伝子が二つあり、それぞれに「バックアップ」があります。そうすると、人の細胞のDNAはバックアップが変則的に合計三つですから、それほどまでに用意周到なのです。私のような慌て者とは違いますが、私自身もその細胞37兆個の集合体なのでした。